

# 高知県内一斉避難訓練

今年も高知県内一斉に、南海トラフ地震に対し「避難する」意識を高めるため、次のとおり避難訓練を実施します。実際に住民の皆さんに避難行動をとっていただき、経路、場所、施設を確認して万一の「災害」に備えていただくことが目的です。皆さんのご参加、ご協力をお願いします。

**日時** 11月7日(日) 9時

※当日は、大津波警報のサイレン及び緊急速報メールを鳴らしますので、その合図により訓練を実施してください。

※災害の発生または恐れのある場合や天候状況により、中止となる場合があります。



# 高齢者の住宅防火対策について

近年の住宅火災による年齢別死者を見ると、65歳以上の高齢者が約7割を占めています。今後さらなる高齢化が見込まれるなかで、住宅火災による高齢者の死者数の割合が増加していくと予想されます。

住宅火災による死者の発生した経過を見ると、逃げ遅れによる死者数の割合は8割以上を占めていますが、逃げ遅れの理由についてさらに分類すると、81歳以上の年齢層では、火災の発見の遅れによる割合よりも、体力的条件、逃げる機会を失う、逃げ切れなかったといった理由により、逃げ遅れた割合が多いことなどの調査結果もあります。高齢者を含めた火災による死傷者をなくすために次のことについて注意しましょう。



## 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

### 4つの習慣

寝たばこは絶対にしない、させない



ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



コンロを使う時は火のそばを離れない

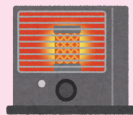


コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く



### 6つの対策

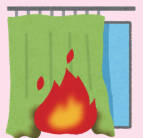
火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置のついた機器を使用する



火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する



火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



問 宿毛消防署 ☎63-3111(代表) ☎63-3300(火災・災害用) FAX 63-3396